

平成24年度事業計画書

(単位:千円)

定 款	8 新宿区から受託する施設の管理運営に関する事業			事業・枝事業番号	8-2-(1)
事業名	新宿歴史博物館の運営 (1)施設の管理運営			担当課	学芸課
				経営計画	成果指標の変更
目 的	新宿区の歴史・文化の継承及び普及・啓発を通じて、区民の教養の向上及び文化の発展に寄与する。				
区分	予算額	前年度予算額	比較増減	会計	公益目的事業会計
事業費	91,745	94,686	△ 2,941	部	経常増減の部
指定管理事業収益	4,999	4,927	72	大	事業費
自主財源	245	0	245	中	8号事業費
区指定管理料	64,585	67,928	△ 3,343	種別	指定管理事業
区指定管理料(人件費)	21,916	21,831	85		

事業の計画

1 実施内容(予定)

- (1)開館日数 平成24年度 333日(予定)
- (2)開館時間 午前9時30分～午後5時30分(入館5時まで)  
※ただし、特別展・協働企画展開催期間中の金・土曜を中心に夜間延長実施予定
- (3)休館日 第2, 4月曜日(休日の場合はその翌日)、年末年始、教育委員会が必要と認める臨時休館日  
指定管理者が必要と認める場合で、教育委員会の承認を得た臨時の休館日  
重要収蔵庫燻蒸実施年のため12/25～27まで臨時休館予定(3日間)
- (4)各施設別計画値 (単位:人)

	常設展示室	企画展示室	閲覧室	講堂	その他	合計
H24年度計画値	18,000	22,000	1,500	14,500	4,000	60,000
H23年度計画値	18,000	22,000	1,500	14,500	4,000	60,000
H22年度実績	13,224	17,195	971	9,779	4,011	45,180
H21年度実績	15,138	18,057	1,300	13,753	3,534	51,782

※H22年度講堂稼働率62%(H21年度実績58.4%)

- (5)入館者数実績に伴い成果指標を変更する。

2 成果指標

入館者数:60,000人(22年度実績:45,180人) (2)経営計画 入館者数50,000人→60,000人

3 実施上の課題

- (1)様々な手法での情報発信機能を強化し、さらなる利用者数の増加に努めていく。
- (2)収蔵庫の収容力が限界にきており、資料の受入れに影響が出ているため、新たな収蔵場所の確保が必要となっている。
- (3)開館から23年以上経過した常設展示室のリニューアル等の改装を検討する。

4 実 績

- (1)平成22年度入館者数 45,180人 有料入館者数15,674人  
観覧料収入:4,248,600円・講堂利用料収入:526,000円
- (2)平成21・22年度比較

	21年度	22年度	増減	前年度比	成果指標	指標達成率
入館者数	51,078	45,180	△ 5,898	88.50%	35,000	129.10%
収入	4,912,808	4,248,600	△ 664,208	86.50%	4,015,000	105.80%

5 対前年予算増減説明

全館燻蒸業務隔年実施に伴う本年度未実施年による減

根拠法令・規程	博物館法、新宿区立新宿歴史博物館条例	事業開始	平成18年度
---------	--------------------	------	--------

平成24年度事業計画書

(単位:千円)

定 款	8 新宿区から受託する施設の管理運営に関する事業			事業・枝事業番号	8-2-(2)
事業名	新宿歴史博物館の運営 (2)指定管理事業			担当課	学芸課
				経営計画	事業規模の変更
目 的	新宿歴史博物館の管理運営を通じて施設を有効活用した各種事業を展開し、魅力的で親しまれる博物館づくりを推進する。				
区分	予算額	前年度予算額	比較増減	会計	公益目的事業会計
事業費	4,750	2,326	2,424	部	経常増減の部
指定管理事業収益	4,995	4,272	723	大	事業費
自主財源	△ 245	0	△ 245	中	8号事業費
区指定管理料	0	△ 1,946	1,946	種別	指定管理事業
区指定管理料(人件費)	0	0	1,946		

事業の計画

1 実施内容(予定)

- (1)博物館友の会…各種講座等の事業時に積極的なPRを行い、会員登録者を増やすとともに、友の会限定事業として講演会とバス旅行を隔年で実施する。会報の発行 年6回。
- (2)博物館ミュージアムショップ…HP等での刊行物の案内をさらに充実させ、販売を促進する。刊行物の販売を促進し、計画的に再版を実施する。
- (3)中庭活用事業…中庭を有効活用するため、地域の活動団体と協働でお茶会を開催する。
- (4)ガーデニングクラブ…年間を通して、講習会1回と年4回の植込を実施する。
- (5)れきはくギャラリー・常設展特設コーナー展示替え…特設コーナー展示替えは、年4回、れきはくギャラリーは、特別展等に関連した展示を行う。
- (6)ミュージアムツアー…毎月第2・第4土曜日の14時から15時30分に、地下1階ホワイエ等でハンズオン・体験型の展示を実施する。
- (7)有償分展示会図録作成に伴い事業規模を変更する。

2 成果指標

友の会会員数:360人(22年度実績:348人)

3 実施上の課題

- (1)施設のPRとあわせて実施する事業の周知を図ることにより来館者及び参加者等の増加を推進する。
- (2)施設の有効活用し特性を生かした事業を実施し、区民に身近で親しまれる施設として一層のイメージアップを図る。

4 実 績

- (1)メンバーズ倶楽部会員数は、366人(H23年10月末現在)。
- (2)取り扱い点数 オリジナルグッズ45点、刊行物76点(H23年8月末現在)。
- (3)毎月第二土曜日14時～15時30分ミュージアムツアーを実施。
- (4)中庭活用事業としてお茶会 年2回実施。
- (5)博物館以外の販売窓口(4ヵ所)。

5 対前年予算増減説明

有償分展示会図録作成印刷経費の増

根拠法令・規程	博物館法、新宿区立新宿歴史博物館条例	事業開始	平成15年度
---------	--------------------	------	--------

# 平成24年度事業計画書

(単位:千円)

定 款	8 新宿区から受託する施設の管理運営に関する事業			事業・枝事業番号	8-3-(1)
事業名	林芙美子記念館の運営 (1)施設の管理運営			担当課	学芸課
				経営計画	継続
目 的	林芙美子の業績の顕彰と歴史的建造物の保存を通して、区民の教養の向上及び文化の発展に寄与する。				
区分	予算額	前年度予算額	比較増減	会計	公益目的事業会計
事業費	17,408	17,717	△ 309	部	経常増減の部
指定管理事業収益	1,500	1,500	0	大	事業費
自主財源	873	1,300	△ 427	中	8号事業費
区指定管理料	8,417	9,433	△ 1,016	種別	指定管理事業
区指定管理料(人件費)	6,618	5,484	1,134		

## 事業の計画

### 1 実施内容(予定)

- (1)開館日数 平成24年度 313日(予定)  
 (2)開館時間 午前10時～午後4時30分(入館4時まで)  
 (3)休館日 月曜日(休日の場合はその翌日)、年末年始、教育委員会が必要と認める臨時の休館日  
 指定管理者が必要と認める場合で、教育委員会の承認を得た臨時の休館日  
 (4)年度別計画値

	人数(人)	観覧料収入(円)
H24年度計画値	12,000	1,500,000
H23年度計画値	12,000	1,500,000
H22年度実績	10,441	1,306,380
H21年度実績	11,878	1,524,650

### 2 成果指標

入館者数:12,000人(22年度実績:10,441人)

### 3 実施上の課題

- (1)来館者からの要望が高い建物内部の常時公開に向け耐久性や安全性の調査を行う。  
 (2)芙美子関連博物館等との連携を深め、相乗効果を図る。  
 (3)寄付金の計画的な活用。

### 4 実 績

- (1)平成22年度入館者数 延10,441名(うち有料入館者数9,400名、観覧料収入:1,306,380円)  
 (2)平成22・21年度入館者数比較

	21年度	22年度	増減	前年度比	成果指標	指標達成率
入館者数	11,878	10,441	△ 1,437	87.9%	12,000	87.0%
収入	1,524,650	1,306,380	△ 218,270	85.7%	1,560,000	83.7%

### 5 対前年予算増減説明

実績による減

根拠法令・規程	博物館法、新宿区立林芙美子記念館条例	事業開始	平成18年度
---------	--------------------	------	--------

# 平成24年度事業計画書

(単位:千円)

定 款	8 新宿区から受託する施設の管理運営に関する事業			事業・枝事業番号	8-3-(2)
事業名	林芙美子記念館の運営 (2)指定管理事業			担当課	学芸課
				経営計画	事業規模の変更
目 的	林芙美子の業績の顕彰と歴史的建造物の保存を通して、区民の教養の向上及び文化の発展に寄与する。				
区分	予算額	前年度予算額	比較増減	会計	公益目的事業会計
事業費	288	769	△ 481	部	経常増減の部
指定管理事業収益	162	174	△ 12	大	事業費
自主財源	126	184	△ 58	中	8号事業費
区指定管理料	0	18	△ 18	種別	指定管理事業
区指定管理料(人件費)	0	393	△ 393		

## 事業の計画

### 1 実施内容(予定)

- (1) 建物内部公開 年5日実施 林芙美子忌(6月)2日、記念館開館記念日(3月)2日
- (2) 落合の追憶 年4回実施 5月、7月、10月、3月
- (3) 庭園鑑賞会 年2回実施 12月、3月
- (4) 展示替え 年4回実施
- (5) 平成22年度より指定管理事業を新設し、事業を展開しているため事業規模を変更する。

### 2 成果指標

参加者数:500人(22年度実績:312人)

### 3 実施上の課題

落合地区文化施設等と連携した事業の充実。

### 4 実 績

- (1)建物内部公開 平成21年度 開催日数3日、参加人数242人  
平成22年度 開催日数3日、参加人数165人
- (2)落合の追憶 平成21年度 開催日数4日、参加人数194人  
平成22年度 開催日数3日、参加人数97人
- (3)庭園鑑賞会と散策 平成21年度 開催日数2日、参加人数61人  
平成22年度 開催日数2日、参加人数50人

### 5 対前年予算増減説明

人件費配分算定減による減

根拠法令・規程	博物館法、新宿区立林芙美子記念館条例	事業開始	平成18年度
---------	--------------------	------	--------

# 平成24年度事業計画書

(単位:千円)

定 款	8 新宿区から受託する施設の管理運営に関する事業		事業・枝事業番号	8-4	
事業名	佐伯祐三アトリエ記念館の管理運営			担当課	学芸課
				経営計画	成果指標の変更
目 的	1.アトリエの保存・公開を通じて佐伯祐三の業績を広く発信し区民等の教養の向上及び文化の発展に寄与する。 2.適切な管理・運営を行うこととともに、施設を活用した事業を実施し魅力づくりを推進する。				
区分	予算額	前年度予算額	比較増減	会計	公益目的事業会計
事業費	10,005	10,005	0	部	経常増減の部
指定管理事業収益	0	0	0	大	事業費
自主財源	0	0	0	中	8号事業費
区指定管理料	3,636	3,889	△ 253	種別	指定管理事業
区指定管理料(人件費)	6,369	6,116	253		

## 事業の計画

### 1 実施内容(予定)

- (1)開館日数 平成24年度 313日(予定)
- (2)開館時間 5月～9月:午前10時～午後4時30分(入館4時まで)  
10月～4月:午前10時～午後4時(入館3時30分まで)
- (3)休館日 月曜日(休日の場合はその翌日)、年末年始
- (4)利用料金 観覧料:無料
- (5)平成22年度新規開館(4月28日)に伴い、成果指標を変更する。

### 2 成果指標

- (1)入館者数:7,000人(22年度実績:9,307人)
- (2)経営計画 参加者数 無記入→7,000人(平成22年度新規開館のため)

### 3 実施上の課題

- (1)積極的な周知活動を行うことで、施設としての知名度の向上、来館者の確保を図る。
- (2)落合文化ネット、林芙美子記念館と連携を図る。
- (3)管理棟での魅力ある展示を行う。

### 4 実 績

平成22年度入館者数 9,307人

### 5 対前年予算増減説明

前年度と同額

根拠法令・規程	新宿区佐伯祐三アトリエ記念館条例	事業開始	平成22年度
---------	------------------	------	--------

# 平成24年度事業計画書

(単位:千円)

定 款	8 新宿区から受託する施設の管理運営に関する事業			事業・枝事業番号	8-5-(1)
事業名	新宿文化センターの運営 (1)施設の管理運営			担当課	文化交流課
				経営計画	成果指標の変更
目 的	より多くの区民や団体に多様な文化芸術の鑑賞機会や活動への参加と協働の場を提供するとともに、「文化芸術創造のまち 新宿」のメッセージにふさわしい活動を展開し発信していく。				
区分	予算額	前年度予算額	比較増減	会計	公益目的事業会計
事業費	361,302	347,446	13,856	部	経常増減の部
指定管理事業収益	217,764	202,935	14,829	大	事業費
自主財源	△ 5,041	△ 4,619	△ 422	中	8号事業費
区指定管理料	93,089	91,201	1,888	種別	指定管理事業
区指定管理料(人件費)	55,490	57,929	△ 2,439		

## 事業の計画

### 1 実施内容(予定)

- (1) 施設利用者の利便性向上を目的に、設備・備品の整備を進め、利用者層の新規開拓を行う。
- (2) 先進館の視察を積極的に行い、現在の施設の問題点を洗い出し、施設の充実度を向上させる。  
※成果指標を利用人数から施設貸出の稼働率に変更する。

### 2 成果指標

全施設の平均稼働率/77%(前年度実績:71.20%)

### 3 実施上の課題

- (1)文化芸術振興基本条例及び「新宿区文化芸術の振興に関する懇談会」報告書の新宿文化センターに関わる提言を実現する。
- (2)多様な区民ニーズを把握し、利用層の拡大を図る。
- (3)指定管理評価委員会による事業評価を向上させる。
- (4)利用者のニーズに応じて、年末年始休館期間中の臨時営業を検討する。

### 4 実 績

	平均利用率(%)	平均稼働率(%)	入場者数合計(人)
平成22年度	89.30%	71.20%	492,212人
平成21年度	90.00%	74.80%	431,227人

※利用率:実際に利用のあった日数/利用可能日数

※稼働率:実際に利用のあったコマ数/利用可能コマ数

### 5 対前年度予算増減説明

- (1)案内広告掲出委託、人材派遣委託の実施による、委託費の増
- (2)小ホール外国製ピアノオーバーホール実施による、修繕費の増
- (3)利用者サービス向上を目的とした消耗品購入による、消耗品費の増

根拠法令・規程	新宿区立新宿文化センター条例及び同条例施行規則	事業開始	平成18年度
---------	-------------------------	------	--------

平成24年度事業計画書

(単位:千円)

定 款	8 新宿区から受託する施設の管理運営に関する事業		事業・枝事業番号	8-5-(2)	
事業名	新宿文化センターの管理運営 (2)指定管理事業			担当課	文化交流課
				経営計画	事業規模の変更
目 的	より多くの区民や団体に多様な文化芸術の鑑賞機会や活動への参加と協働の場を提供するとともに、「文化芸術創造のまち 新宿」のメッセージにふさわしい活動を展開し発信していく。				
区分	予算額	前年度予算額	比較増減	会計	公益目的事業会計
事業費	41,455	36,879	4,576	部	経常増減の部
自主事業収益	17,291	19,779	△ 2,488	大	事業費
自主財源	15,893	8,829	7,064	中	8号事業費
区指定管理料	△ 1,517	△ 1,632	115	種別	指定管理事業
区指定管理料(人件費)	9,788	9,905	△ 117		

事業の計画

1 実施内容(予定)					
事業名	日程				
レガスマつり	平成24年 4月 7日(土)				
新宿春のジャズまつり	平成24年 5月12日(土)				
沖縄音楽フェスティバル	平成24年 7月28日(土)				
青少年ブラスフェスティバル	平成24年10月 6日(土)				
友の会の設立	平成24年10月発足予定				
新宿文化寄席	平成24年11月 8日(木)				
国際都市新宿・踊りの祭典	平成24年11月10日(土)				
障がいがある子どものコンサート	平成24年11月23日(金)				
子どもの音楽会	平成24年12月 9日(日)				
新春名作狂言の会	平成25年 1月31日(木)				
ランチタイムコンサート	年4回				
パイプオルガン活用事業	年3回				
落語in和室	毎月第3金曜日				
区内在住等の演奏家コンサート	実施日調整中				
	※事業規模 事業数5回→14回				
2 成果指標 参加者数/13,480人(前年度実績 4,803人)					
3 実施上の課題 (1) 文化芸術振興基本条例及び「新宿区文化芸術の振興に関する懇談会」報告書の新宿文化センターに関わる提言を実現する。 (2) 市街地現況の変化に対応した事業PRを強化する。 (3) 多様化した区民ニーズを調査し、ニーズに沿った事業を展開する。					
4 実績(平成23年12月現在)					
事業名	日程	会場	出演者	入場者数	
レガスマつり	東日本大震災のため中止				
ランチタイムコンサート	2回実施	大ホール	早島万紀子ほか	423人	
落語in和室	8回実施	和会議室	神田 蘭ほか	168人	
新宿春のジャズまつり	大ホール工事のため中止				
沖縄音楽フェスティバル	平成23年 7月30日(土)	大ホール	古謝美佐子ほか	687人	
パイプオルガンはひみつ基地	平成23年 8月19日(金)	大ホール	高橋博子、早島万紀子	289人	
新宿文化寄席	平成23年 9月12日(月)	大ホール	桂歌丸、三遊亭円楽	911人	
高橋博子リサイタル	平成23年10月14日(金)	大ホール	高橋博子、上杉清仁	177人	
早島万紀子リサイタル	平成23年11月15日(火)	大ホール	早島万紀子	250人	
子どもの音楽会	平成23年12月11日(日)	大ホール	落三小吹奏楽団ほか	1,720人	
5 対前年度予算増減説明 友の会発足による委託費、通信運搬費、印刷製本費、消耗品費、旅費交通費の増					
根拠法令・規程	新宿区立新宿文化センター条例・新宿区文化芸術振興基本条例		事業開始	平成18年度	

# 平成24年度事業計画書

(単位:千円)

定 款	8 新宿区から受託する施設の管理運営に関する事業			事業・枝事業番号	8-6-(1)
事業名	プラネタリウムの運営 (1)管理			担当課	学習・スポーツ課
				経営計画	継続
目 的	幅広い区民に対してプラネタリウムを楽しみ、学ぶ機会を提供するために、プラネタリウム施設の良好な維持管理を行う。				
区分	予算額	前年度予算額	比較増減	会計	公益目的事業会計
事業費	2,558	2,556	2	部	経常増減の部
受託事業収益	0	0	0	大	事業費
区受託料	1,479	1,776	△ 297	中	8号事業費
区受託料(人件費)	1,079	780	299	種別	受託事業

## 事業の計画

### 1 実施内容(予定)

- (1) 一般投影を実施する。  
 ①時期: 毎月原則3日 その他、学校休暇時期(おもに夏期)・都民の日  
 ②回数: 年間55日(165回)  
 ③料金: 高校生以上 ¥300(区へ歳入) 中学生以下無料  
 ④内容: 季節ごとのプログラムによる一般投影
- (2) 学習投影を実施する。  
 ①時期: 原則平日昼間  
 ②回数: 年間約170件  
 ③内容: 学校学習に合わせた投影と解説  
 ④対象: 区立幼稚園、小学校、中学校、養護学校など

### 2 成果指標

延べ参加者目標 6,181名 (前年度実績: 4,222名 一般投影)

### 3 実施上の課題

西早稲田駅近くという好立地にあるプラネタリウムであるということを積極的に周知し、集客増を目指す。

### 4 実 績

- (1) 一般投影入場者数 172回・4,191名(22年4月～23年3月) ほか免除利用 61名  
 (2) 学習投影利用者数 174件 7,501名(22年4月～23年3月)

### 5 対前年度予算増減説明

人件費の単価増に伴う増

根拠法令・規程	社会教育法、学習指導要領、新宿区立教育センター条例 ならびに施行規則	事業開始	平成18年度
---------	---------------------------------------	------	--------



# 平成24年度事業計画書

(単位:千円)

定 款	2 文化芸術の振興と地域の文化活動を通じた豊かな心の育成		事業・枝事業番号	8-6-(2)	
事業名	プラネタリウムの運営 (2)活用			担当課	学習・スポーツ課
				経営計画	継続
目 的	区内を中心とした文化芸術の発展と区内の生涯学習活動の推進するために、芸術活動を行っている個人や団体の活動発表の場として活用する。				
区分	予算額	前年度予算額	比較増減	会計	公益目的事業会計
事業費	3,241	3,639	△ 398	部	経常増減の部
自主事業収益	2,131	2,660	△ 529	大	事業費
自主財源	△ 453	△ 581	128	中	8号事業費
区補助金(人件費)	1,563	1,560	3	種別	自主事業

## 事業の計画

### 1 実施内容(予定)

- (1) 星空コンサート 4月～25年3月にかけて 月1回 年12回程度 各回定員140名
- (2) 星空おはなし会 年2回、定員140名 \*乳幼児連れ対象
- (3) 特別企画 関連他部署等との連携したプログラム実施
- (4) プラネタリウムボランティアの活動
  - ①各プログラム実施における運営補助(投影機械の操作・MC解説・受付補助等)
  - ②操作等についての学習会、ボランティア企画の実施等

### 2 成果指標

延べ来場者数 1,330名 (前年度実績: 1,030名 来場者数)

### 3 実施上の課題

- (1) 関連他部署・団体に、出演団体の紹介やプログラム企画への参画・協力を依頼し、連携を促進する。
- (2) 来場者アンケート等を参考に、コンサートや企画内容のジャンルを広げて、プラネタリウムでの楽しみ方を増やしていく。
- (3) ボランティア中心の事業運営体制へ移行していけるよう、実質的な研修など体験を積める機会を増やす。

### 4 実 績

プログラム	回数	延参加	登録
星空コンサート	11	837	
星空おはなし会	2	193	
そのほか企画	0	0	
合計	13	1,030	
ボランティア参加人数		83	8
総合計		1,113	

### 5 対前年度予算増減説明

委託料の算出方法の見直しによる委託費の減

根拠法令・規程	社会教育法、学習指導要領、新宿区立教育センター条例 ならびに施行規則	事業開始	平成18年度
---------	---------------------------------------	------	--------

# 平成24年度事業計画書

(単位:千円)

定 款	8 新宿区から受託する施設の管理運営に関する事業		事業・枝事業番号	8-7-(1)	
事業名	新宿コズミックスポーツセンターの運営 (1)施設の管理運営			担当課	施設課
				経営計画	成果指標の変更
目 的	生涯学習活動を実現させるため、コズミックセンターの施設を提供する。				
区分	予算額	前年度予算額	比較増減	会計	公益目的事業会計
事業費	370,916	369,609	1,307	部	経常増減の部
指定管理事業収益	96,658	93,295	3,363	大	事業費
区指定管理料	165,275	166,340	△ 1,065	中	8号事業費
区指定管理料(人件費)	108,983	109,974	△ 991	種別	指定管理事業

## 事業の計画

### 1 実施内容(予定)

- (1) 公益法人として団体との事業実施日・時間について調整し、協働連携事業を拡充する。
- (2) 利用者のニーズに応じた設備の導入や、施設の現況に応じた施設の修繕を行う。
- (3) 文化系団体に対する利用促進周知と、これに対応する施設の多様な運用に向けた検討を行う。
- (4) コズミックセンター玄関前トイレ施設の活用、マッサージチェア及び自動販売機の管理運営、プール用品の販売を行う。

### 2 成果指標

施設利用に関する成果を適正に判断するために、新たな指標として稼働率を追加する。

- (1) のべ利用者数 572,000人(平成22年度実績538,683人)
- (2) 稼働率 76.8%(平成22年度実績76.9%)

### 3 実施上の課題

- (1) 相対的に稼働率の低い施設や稼働率が低下傾向にある施設の稼働率を改善する。
- (2) 一部の施設や設備の経年劣化に対応する。
- (3) 施設・設備・周知の面で、利用種目が広がりにくい状況に対応する。
- (4) 文化系・スポーツ系を問わず、利用者が活用しやすい環境を整備する。

### 4 実 績

- (1) 平成22年度 のべ利用者数538,683人、稼働率76.9%
- (2) 平成21・22年度比較

#### ①のべ利用者数

21年度	22年度	差(22-21)	前年度比	成果指標	同比
554,604	538,683	△ 15,921	97.1%	569,000	94.7%

#### ②稼働率

21年度	22年度	差(22-21)	前年度比	成果指標	同比
75.6%	76.9%	+1.3ポイント	101.7%	76.0%	101.2%

### 5 対前年度予算増減説明

指定管理事業収益の増 雑収入の増による(マッサージチェア収入とプール用品販売が(2)指定管理事業から移行)。

根拠法令・規程	新宿コズミックスポーツセンター条例、同施行規則	事業開始	平成18年度
---------	-------------------------	------	--------

# 平成24年度事業計画書

(単位:千円)

定 款	8 新宿区から受託する施設の管理運営に関する事業		事業・枝事業番号	8-7-(2)	
事業名	新宿コズミックスポーツセンターの運営 (2)指定管理事業			担当課	施設課
				経営計画	事業内容の変更
目 的	区民の生涯健康で充実した人生への寄与のために、事業を実施する。				
区 分	予算額	前年度予算額	比較増減	会計	公益目的事業会計
事業費	7,830	9,018	△ 1,188	部	経常増減の部
指定管理事業収益	20,950	23,205	△ 2,255	大	事業費
区指定管理料	△ 15,853	△ 16,974	1,121	中	8号事業費
区指定管理料(人件費)	2,733	2,787	△ 54	種別	指定管理事業

## 事業の計画

### 1 実施内容(予定)

利用者の利便性向上のため、(7)の事業を加える。

- (1) 団体等と連携したスポーツ等普及事業 卓球・バドミントン・バレーボール
- (2) レガスまつり 4月7日(土)
- (3) ロビーコンサート 月1回
- (4) ポイントラリー(プールの個人利用事業)
- (5) レガス・アミューズ・プロジェクト(利用者と一緒に楽しむイベント)
- (6) ガーデニングクラブによる施設装飾

### 2 成果指標

のべ参加者、参加団体の増加(平成22年度実績は下記「4 実績」を参照)

### 3 実施上の課題

- (1) 参加者の継続的な活動へ誘導するためのアピールを強化する。
- (2) 講座およびイベントへ参加していただくため、バンクや生涯学習館まつりとの連携を行う。

### 4 実 績

	平成22年度	平成23年度
(1)団体等と連携したスポーツ等普及事業 のべ参加者数合計	3,132 人	1,292 人 (11月迄)
① バレー・ソフトバレーボール	682 人	326 人 (〃)
② バドミントン	1,286 人	623 人 (〃)
③ 卓球	985 人	343 人 (〃)
④ 少林寺	19 人	—
⑤ 弓道	160 人	—
(2)レガスまつり のべ参加者数	9,176 人	東日本大震災の被災者受け入れ施設となったため中止
参加団体	115 団体	
(3)ロビーコンサート のべ参加者数	210 人	539 人 (12月迄)
回数	5 回	全12回中9回
(4)ポイントラリー のべ参加者数	65,130 人	48,749 人 (12月迄)
(5)レガス・アミューズ・プロジェクト のべ参加者数合計	事業計画なし	(平成24年度のプレ事業) 4,130 人 (12月迄)
① 打ち水イベント		400 人 (9月)
② ハロウィン・プロジェクト		1,710 人 (10月)
③ コズミックセンター・クリスマス		2,020 人 (12月)
(6)ガーデニングクラブによる施設装飾	玄関前花壇の整備	玄関前花壇の整備

### 5 対前年度予算増減説明

指定管理事業収益の減 雑収入の減による(マッサージチェア収入とプール用品販売が(1)管理運営へ移行)。

根拠法令・規程	社会教育法、スポーツ基本法、生涯学習振興法 新宿コズミックスポーツセンター条例	事業開始	平成12年度
---------	--	------	--------

# 平成24年度事業計画書

(単位:千円)

定 款	8 新宿区から受託する施設の管理運営に関する事業		事業・枝事業番号	8-8-(1)	
事業名	大久保スポーツプラザの運営 (1)施設の管理運営			担当課	施設課
				経営計画	成果指標の変更
目 的	生涯学習活動を実現させるため、大久保スポーツプラザの施設を提供する。				
区分	予算額	前年度予算額	比較増減	会計	公益目的事業会計
事業費	40,375	40,237	138	部	経常増減の部
指定管理事業収益	19,420	19,191	229	大	事業費
区指定管理料	9,008	9,055	△ 47	中	8号事業費
区指定管理料(人件費)	11,947	11,991	△ 44	種別	指定管理事業

## 事業の計画

### 1 実施内容(予定)

- (1) 利用者のニーズに応じた設備の導入や、施設の現況に応じた施設の修繕を行う。
- (2) ロビーの環境整備に関わる備品を充実させる。
- (3) マッサージチェアの稼働アップ策の実行及び自動販売機を設置する。

### 2 成果指標

施設利用に関する成果を適正に判断するために、新たな指標として稼働率を追加する。

(1)のべ利用者数 平成23年度の屋内実績の102%+同年度テニス実績(平成22年度実績78,712人)

(2)稼働率	多目的ホール	93.0%	(平成22年度実績92.3%)
	集会室	83.0%	(平成22年度実績80.6%)
	和室	51.0%	(平成22年度実績43.9%)
	児童遊戯室	0.7%	(平成22年度実績0.8%)
	テニスコート	83.0%	(平成22年度実績82.3%)

### 3 実施上の課題

- (1) 稼働率の低い和室や児童遊戯室の利用者増ため、施設の特徴をいかした活用方法を検討する。
- (2) 生涯学習機能を高めるため、財団事業や団体連携・協働事業を開催を促進する。
- (3) 一部の施設や設備の経年劣化や利用環境の整備に対応する。

### 4 実 績

(1) 平成22年度 のべ利用者数 78,712人

稼働率	多目的ホール	92.3%
	集会室	80.6%
	和室	43.9%
	児童遊戯室	0.8%
	テニスコート	82.3%

(2) 平成21・22年度比較

①のべ利用者数

21年度	22年度	差(22-21)	前年度比	成果指標	同比
78,245	78,712	467	100.6%	75,000	104.9%

②稼働率

	21年度	22年度	差(22-21)	前年度比	成果指標	同比
多目的ホール	91.6%	92.3%	+0.7ポイント	100.8%	85.0%	108.6%
集会室	81.2%	80.6%	△0.6ポイント	99.3%	76.0%	106.1%
和室	47.0%	43.9%	△3.1ポイント	93.4%	55.0%	79.8%
児童遊戯室	0.5%	0.8%	+0.3ポイント	160.0%	0.5%	160.0%
テニスコート	82.5%	82.3%	△0.2ポイント	99.8%	76.0%	108.3%

### 5 対前年度予算増減説明

指定管理事業収益の増 雑収入の増による(マッサージチェア収入が(2)指定管理事業から移行)。

根拠法令・規程	新宿区立大久保スポーツプラザ条例、同施行規則	事業開始	平成18年度
---------	------------------------	------	--------

# 平成24年度事業計画書

(単位:千円)

定 款	8 新宿区から受託する施設の管理運営に関する事業		事業・枝事業番号	8-8-(2)	
事業名	大久保スポーツプラザの運営 (2)指定管理事業			担当課	施設課
				経営計画	事業内容の変更
目 的	区民の生涯健康で充実した人生への寄与のために、事業を実施する。				
区分	予算額	前年度予算額	比較増減	会計	公益目的事業会計
事業費	869	1,210	△ 341	部	経常増減の部
指定管理事業収益	224	469	△ 245	大	事業費
区指定管理料	645	741	△ 96	中	8号事業費
区指定管理料(人件費)	0	0	0	種別	指定管理事業

## 事業の計画

### 1 実施内容(予定)

マッサージチェアと自動販売機の収入について、事業ではなく施設に設置しているものとして一体的に管理するものと判断したため、「(2)指定管理事業」から「(1)施設の管理運営」へ移行する。

(1) 落語の講演(事業名「落語 in 和室」)を定期に実施する。

また、開催時期についてハッピーマンデーに開催するなど工夫を行う。

(2) ガーデニングボランティアの活動の場として提供し、来館者の目にとまるような施設の装飾を行う。

### 2 成果指標

参加者の増加(平成22年度実績20人)

### 3 実施上の課題

(1) 集客を増やすために、施設や事業の周知方法を工夫する。

(2) 来場者の定着を図るために、その対策を検討する。

### 4 実 績

(1) 落語 in 和室

平成22年度 3月に試演で1回実施 20人

平成23年度 (平成23年5月～平成24年2月、全10回。)

5月～12月(8回) 137人

(2) ガーデニングクラブが入口付近の施設装飾を行っている。

### 5 対前年度予算増減説明

指定管理事業収益の減 雑収入の減による(マッサージチェア収入が(1)管理運営へ移行)。

根拠法令・規程	社会教育法、スポーツ基本法、生涯学習振興法 大久保スポーツプラザ条例	事業開始	平成18年度
---------	---------------------------------------	------	--------

# 平成24年度事業計画書

(単位:千円)

定 款	8 新宿区から受託する施設の管理運営に関する事業			事業・枝事業番号	8-9-(1)
事業名	公園内運動施設の運営 (1)施設の管理運営			担当課	施設課
				経営計画	成果指標の変更
目 的	生涯学習活動を実現させるため、公園内運動施設を提供する。				
区分	予算額	前年度予算額	比較増減	会計	公益目的事業会計
事業費	53,835	54,006	△ 171	部	経常増減の部
指定管理事業収益	23,040	23,040	0	大	事業費
区指定管理料	3,470	3,600	△ 130	中	8号事業費
区指定管理料(人件費)	27,325	27,366	△ 41	種別	指定管理事業

## 事業の計画

### 1 実施内容(予定)

- (1) 落合中央公園野球場・西戸山野球場において通年で野球とサッカーができるように新宿区体育協会と協議する。
- (2) 早朝・夜間利用枠を拡大するために、区及び体育協会と連携して、地元町会に働きかけをする。
- (3) 区内企業や各種学校へのPR、広報媒体の見直しを行い、低利用区分の利用率を向上させる。
- (4) 衛生面・安全面の向上のため、更衣室・トイレ、場外ボール用防護ネットの設備の改善を行う。
- (5) 各球場内に設置される飲料用自動販売機を、順次、災害時対応型タイプへ移行する。

### 2 成果指標

施設利用に関する成果を適正に判断するために、新たな指標として稼働率を追加する。

- (1) のべ利用者数135,000人(平成22年度実績143,680人)
- (2) 稼働率72.0%(雨天中止含む)(平成22年度実績68.5%)

### 3 実施上の課題

- (1) 低稼働率区分の利用率向上するために、周知などに取り組む。
- (2) 冬季利用時間の延長をするために、地元町会及び近隣住民との意見調整する。
- (3) 野球とサッカーを通年で行うために、設備の改修する。
- (4) 近隣にお住まいの方の理解を得るために、早朝・ナイター利用時の騒音対策を行う。
- (5) 安全利用のために、ボールを場外に出さない対策を行う。
- (6) 災害時に備えるために、災害時対応型飲料用自動販売機導入を検討する。

### 4 実 績

- (1) 平成22年度のべ利用人数:143,680人 稼働率68.5%(雨天中止含む)

- (2) 平成21・22年度比較

#### ①のべ利用者数

21年度	22年度	差(22-21)	前年度比	成果指標	同比
145,224	143,680	△ 1,544	98.9%	135,000	106.4%

#### ②稼働率

21年度	22年度	差(22-21)	前年度比	成果指標	同比
72.0%	68.5%	△3.5ポイント	95.1%	72.0%	95.1%

### 5 対前年度予算増減説明

区指定管理料の減 「平成23年度～平成27年度 新宿区立公園内運動施設事業計画書」に基づく減。

根拠法令・規程	新宿区立公園における運動施設の管理及び運営に関する条例、新宿区立公園における運動施設の管理及び運営に関する条例施行規則、新宿区立妙正寺川公園条例、新宿区立妙正寺公園条例施行規則	事業開始	平成18年度
---------	--	------	--------

# 平成24年度事業計画書

(単位:千円)

定 款	8 新宿区から受託する施設の管理運営に関する事業			事業・枝事業番号	8-9-(2)
事業名	公園内運動施設の運営 (2) 指定管理事業			担当課	施設課
				経営計画	継続
目 的	区民の生涯健康で充実した人生への寄与のために、事業を実施する。				
区分	予算額	前年度予算額	比較増減	会計	公益目的事業会計
事業費	840	840	0	部	経常増減の部
指定管理事業収益	0	0	0	大	事業費
区指定管理料	840	840	0	中	8号事業費
区指定管理料(人件費)	0	0	0	種別	指定管理事業

## 事業の計画

### 1 実施内容(予定)

#### (1) 情報交換ボードを設置する。

各種スポーツ大会の情報ははじめ、審判講習会及び対戦相手・チームメートの募集、利用者及びスポーツ愛好家の相互の交流を図ることを目的に西落合少年野球場・庭球場および甘泉園庭球場に設置する。

- ① 新宿区体育協会及び体育協会加盟の屋外スポーツ種目団体との定例打合せ会を実施する。
- ② 体育協会加盟団体からの大会、講習会の情報を収集する。
- ③ 東京都及び関連団体からの大会及び講習会の情報を収集する。
- ④ その他、スポーツ大会の情報を収集する。

#### (2) 地域に貢献した事業を実施する。

区内の民間企業をはじめ、新宿区体育協会といった団体と連携し、施設の特性を活かした地域住民向けのイベントを実施する。

- ① 特別出張所及び地元町会への事前調査を行う。
- ② 球場周辺の学校及び幼稚園、保育園への事前調査を行う。
- ③ 新宿区体育協会といった団体とのイベント実施に向けた調査を行う。
- ④ 親子スポーツイベントを実施する。

### 2 成果指標

のべ参加者数の増加(平成23年度12月迄実績40人。平成22年度実績なし)。

### 3 実施上の課題

- (1) 上記2施設内における案内・情報交換ボードの設置方法と設置場所の確保を行う。
- (2) 低稼働率区分における利用促進に取り組む。
- (3) 新宿区体育協会といった団体との連携した事業に取り組む。
- (4) 地域に貢献した事業の実施に伴う調整と働きかけを行う。

### 4 実 績

- (1) 情報交換ボード設置実績: 西戸山公園野球場と落合中央公園野球場・庭球場に設置
- (2) 親子スポーツイベント(平成23年度全1回): のべ参加数40名(12月迄、全1回)

### 5 対前年度予算増減説明

前年度と同額

根拠法令・規程	新宿区立公園における運動施設の管理及び運営に関する条例、新宿区立公園における運動施設の管理及び運営に関する条例施行規則、新宿区立妙正寺川公園条例、新宿区立妙正寺公園条例施行規則	事業開始	平成18年度
---------	--	------	--------

# 平成24年度事業計画書

(単位:千円)

定 款	8 新宿区から受託する施設の管理運営に関する事業		事業・枝事業番号	8-9-(3)	
事業名	公園内運動施設の運営 (3)四村橋脇公衆便所扉開閉等委託			担当課	施設課
				経営計画	継続
目 的	利用者に快適に利用していただくために、トイレの維持管理を行う。				
区分	予算額	前年度予算額	比較増減	会計	公益目的事業会計
事業費	500	499	1	部	経常増減の部
受託事業収益	0	0	0	大	事業費
区受託料	159	499	△ 340	中	8号事業費
区受託料(人件費)	0	0	0	種別	受託事業

## 事業の計画

### 1 実施内容(予定)

- (1) 西落合公園少年野球場・庭球場の利用時間外について、だれでもトイレの施錠を行う。
- (2) 夜間でも不足しないように、トイレトペーパーの補充を行う。

### 2 成果指標

不定住者がだれでもトイレを不法占拠していない状態を維持する(平成23年12月現在発生なし)。

### 3 実施上の課題

無人の時間帯のトイレトペーパーの補充対策を検討する。

### 4 実 績

平成23年12月現在、特に問題は発生していない。

### 5 対前年度予算増減説明

区受託料の増 消耗品費の増

根拠法令・規程	新宿区立公園条例	事業開始	平成23年度
---------	----------	------	--------



# 平成24年度事業計画書

(単位:千円)

定 款	8 新宿区から受託する施設の管理運営に関する事業			事業・枝事業番号	8-10-(1)
事業名	運動広場の管理運営 (1)多目的運動広場等の管理運営			担当課	施設課
				経営計画	継続
目 的	区内の屋外スポーツ施設の不足を補うため、運動広場を良好な状態に維持管理する。				
区分	予算額	前年度予算額	比較増減	会計	公益目的事業会計
事業費	4,539	3,641	898	部	経常増減の部
受託事業収益	0	0	0	大	事業費
区受託料	4,342	3,445	897	中	8号事業費
区受託料(人件費)	197	196	1	種別	受託事業

## 事業の計画

### 1 実施内容(予定)

- (1) 運動広場の適正な管理、運営を行う。
- (2) 利用者の要望に反映させた施設改善を実施する。
- (3) 運動広場利用団体等を対象とした利用者懇談会を開催する。
- (4) 他自治体等における利用条件を調査する。

### 2 成果指標

のべ利用者数73,130人(平成22年度実績72,609人)

### 3 実施上の課題

- (1) 稼働率の低い時間帯の稼働率アップのための工夫に取り組む。
- (2) 戸山多目的運動広場の周辺環境改善のため、都、区との調整、改善を行う。
- (3) 上智大学真田堀グラウンドの利用方法の見直しと貸出方法の改善のため、大学、区との調整を行う。
- (4) 北新宿多目的運動広場の利用調整のために、協議を行う。
- (5) 大智学園(旧淀橋中学校)等開放枠拡大のために、その調整に取り組む。
- (6) 各施設備付設備(管理棟、トイレ、水道等)の適正な維持管理を行う。
- (7) 施設を有効活用するため、周知広報を充実し、稼働率の向上を図る。
- (8) 他自治体等との利用条件の比較や条件の見直しを行う。

### 4 実 績

- (1) 平成22年度利用者数:72,609人 稼働率45.8%(雨天中止含む、参考値)
- (2) 平成21・22年度比較

のべ利用者数

21年度	22年度	差(22-21)	前年度比	成果指標	同比
61,520	72,609	11,089	118.0%	54,200	134.0%

- (3) 施設名 戸山多目的運動広場、北新宿多目的広場  
妙正寺川公園運動広場、上智大学真田堀運動場  
旧淀橋中学校(大智学園)運動広場

### 5 対前年度予算増減説明

区受託料の増 修繕費の増

根拠法令・規程	新宿区立北新宿公園[多目的広場]の管理運営に関する要綱、真田堀埋立地(上智学院運動場)の都民使用覚書、戸山公園(箱根山)多目的広場運営要綱、大智学園高等学校グラウンドの使用に関する協定・新宿区旧淀橋中学校多目的運動広場事業実施要綱	事業開始	昭和58年度
---------	---	------	--------

平成24年度事業計画書

(単位:千円)

定 款	8 新宿区から受託する施設の管理運営に関する事業		事業・枝事業番号	8-10-(2)	
事業名	運動広場の管理運営 (2)新宿ここ・から広場の管理運営			担当課	施設課
				経営計画	継続
目 的	生涯学習・スポーツ活動に寄与するために、運動広場の管理運営を行う。				
区分	予算額	前年度予算額	比較増減	会計	公益目的事業会計
事業費	4,264	4,280	△ 16	部	経常増減の部
受託事業収益	0	0	0	大	事業費
区受託料	325	379	△ 54	中	8号事業費
区受託料(人件費)	3,939	3,901	38	種別	受託事業

事業の計画

<p>1 実施内容(予定)</p> <p>(1) 運動広場の適正な管理、運営を行う。</p> <p>(2) 利用者の要望に反映させた施設改善を実施する。</p> <p>(3) 運動広場利用団体を対象とした利用者懇談会を開催する。</p> <p>(4) ワンポイント指導を実施する。</p> <p>2 成果指標</p> <p>のべ利用者数 9,660人(平成23年度実績12月迄8,343人。平成22年度実績なし。)</p> <p>3 実施上の課題</p> <p>(1) ワンポイント指導の運営体制を確立する。</p> <p>(2) 地域ボランティアの活用による施設運営を確立する。</p> <p>(3) 利用種目の検討による施設の有効活用に取り組む。</p> <p>4 実 績</p> <p>のべ利用者数 平成22年度は実績なし。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>23年度12月迄</td> <td>成果指標(年)</td> <td>同比</td> </tr> <tr> <td>8,343</td> <td>4,950</td> <td>168.5%</td> </tr> </table> <p>5 対前年度予算増減説明</p> <p>区受託料の減 消耗品費の減少</p>						23年度12月迄	成果指標(年)	同比	8,343	4,950	168.5%
23年度12月迄	成果指標(年)	同比									
8,343	4,950	168.5%									
根拠法令・規程	新宿ここ・から広場生涯学習・スポーツ活動等事業用地の使用に関する規則			事業開始	平成23年度						

平成24年度事業計画書

(単位:千円)

定 款	8 新宿区から受託する施設の管理運営に関する事業		事業・枝事業番号	8-10-(2)	
事業名	運動広場の管理運営 (2)新宿ここ・から広場の管理運営			担当課	施設課
				経営計画	継続
目 的	生涯学習・スポーツ活動に寄与するために、運動広場の管理運営を行う。				
区分	予算額	前年度予算額	比較増減	会計	公益目的事業会計
事業費	4,264	4,280	△ 16	部	経常増減の部
受託事業収益	0	0	0	大	事業費
区受託料	325	379	△ 54	中	8号事業費
区受託料(人件費)	3,939	3,901	38	種別	受託事業

事業の計画

<p>1 実施内容(予定)</p> <p>(1) 運動広場の適正な管理、運営を行う。</p> <p>(2) 利用者の要望に反映させた施設改善を実施する。</p> <p>(3) 運動広場利用団体を対象とした利用者懇談会を開催する。</p> <p>(4) ワンポイント指導を実施する。</p> <p>2 成果指標</p> <p>のべ利用者数 9,660人(平成23年度実績12月迄8,343人。平成22年度実績なし。)</p> <p>3 実施上の課題</p> <p>(1) ワンポイント指導の運営体制を確立する。</p> <p>(2) 地域ボランティアの活用による施設運営を確立する。</p> <p>(3) 利用種目の検討による施設の有効活用に取り組む。</p> <p>4 実 績</p> <p>のべ利用者数 平成22年度は実績なし。</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width:20%;">23年度12月迄</td> <td style="width:40%;">成果指標(年)</td> <td style="width:40%;">同比</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">8,343</td> <td style="text-align: center;">4,950</td> <td style="text-align: center;">168.5%</td> </tr> </table> <p>5 対前年度予算増減説明</p> <p>区受託料の減 消耗品費の減少</p>						23年度12月迄	成果指標(年)	同比	8,343	4,950	168.5%
23年度12月迄	成果指標(年)	同比									
8,343	4,950	168.5%									
根拠法令・規程	新宿ここ・から広場生涯学習・スポーツ活動等事業用地の使用に関する規則			事業開始	平成23年度						

# 平成24年度事業計画書

(単位:千円)

定 款	8 新宿区から受託する施設の管理運営に関する事業		事業・枝事業番号	8-11	
事業名	区内都立高等学校との連携事業 (施設開放等)			担当課	施設課
				経営計画	継続
目 的	区民がスポーツ活動及び生涯学習活動を実践する場や機会の拡充を図るために、都施設開放事業を実施する。				
区分	予算額	前年度予算額	比較増減	会計	公益目的事業会計
事業費	8,894	9,871	△ 977	部	経常増減の部
補助事業収益	872	872	0	大	事業費
区補助金	7,825	8,803	△ 978	中	8号事業費
区補助金(人件費)	197	196	1	種別	補助事業

## 事業の計画

### 1 実施内容(予定)

- (1) 都立山吹高等学校プール開放について下記のとおり実施する。
  - ① 期間 平成24年4月から平成25年3月 ※学校授業、行事、部活動で使用しない時間帯
  - ② 費用 高校生以上…登録料2,000円(10月以降1,000円)、保険料1,600円  
中学生以下…登録料500円(10月以降200円)、保険料600円
- (2) 都立山吹高等学校施設開放について下記のとおり実施する。
  - ① 期間 平成24年4月から平成25年3月 ※学校授業、行事、部活動で使用しない時間帯
  - ② 内容 大体育室及び小体育室、ルーフグラウンド、クラブハウスの開放
- (3) 都立戸山高等学校について下記のとおり実施する。
  - ① 期間 平成24年4月から平成25年3月 ※学校授業、行事、部活動で使用しない時間帯
  - ② 内容 テニス、サッカーの開放
- (4) 区内都立高等学校との連絡会を開催する。

### 2 成果指標

のべ利用者数13,500人(平成22年度実績15,704人)

### 3 実施上の課題

- (1) 都立山吹高等学校プール開放登録者数、施設開放利用者数アップに向けた工夫をする。
- (2) 都立山吹高等学校利用者の増加と管理委託方法の見直し、管理経費の節減、単位費用の改善に取り組む。
- (3) 区内都立高等学校との連携による施設開放事業を拡充する。
- (4) 新たな連携、協働による施設開放事業の実施に向けた連絡会を開催する。

### 4 実 績

- (1) 平成22年度 のべ利用者数:15,704人
- (2) 平成21・22年度比較  
のべ利用者数

21年度	22年度	差(22-21)	前年度比	成果指標	同比
16,153	15,704	△ 449	97.2%	13,000	120.8%

### 5 対前年度予算増減説明

区補助金の減 委託費の減(開催時間および管理指導員単価見直しにより)

根拠法令・規程	都立新宿山吹高等学校体育施設開放事業に関する確認書、クラブハウス使用許可実施要綱、プール使用要綱、都立戸山高等学校体育施設の夜間開放に関する確認書	事業開始	平成20年度
---------	---	------	--------

# 平成24年度事業計画書

(単位:千円)

定 款	8 新宿区から受託する施設の管理運営に関する事業		事業・枝事業番号	8-12-(1)	
事業名	生涯学習館の運営 (1)施設の管理運営			担当課	学習・スポーツ課
				経営計画	事業規模の変更
目 的	地域の生涯学習活動の拠点施設として生涯学習活動を支援するため、生涯学習館を運営する。				
区分	予算額	前年度予算額	比較増減	会計	公益目的事業会計
事業費	167,354	156,384	10,970	部	経常増減の部
指定管理事業収益	19,394	19,176	218	大	事業費
自主事業収益	0	0	0	中	8号事業費
自主財源	10,903	0	10,903	種別	指定管理事業
区指定管理料	40,536	39,806	730		
区指定管理料(人件費)	96,521	97,402	△ 881		

## 事業の計画

### 1 実施内容(予定)

成果指標である参加者数を295,200人から297,700人に変更する。

- (1) 三栄町生涯学習館施設の建て替えに伴う旧四谷第三小学校での学習館運営を円滑に行なう。
- (2) 前年度の利用者懇談会での要望を館運営に反映させる。
- (3) 各館で利用者懇談会を開催し、利用者のニーズを的確に把握し、利用団体が活動を継続・活性化できるようコーディネートを行なう。また、生涯学習・地域人材交流ネットワーク制度を活用し、団体の活動を発展させるよう支援する。
- (4) 学習館各館で使用している机・椅子のうち、老朽化が著しいものについて一斉に更新する。

### 2 成果指標

経営計画 参加者数 295,200人→297,700人へ増加

施設利用率:80.5%、延べ利用人数:297,700人(平成22年度85.8%、274,222人)

生涯学習・地域人材交流ネットワーク制度と連携し、団体支援を強化する。

### 3 実施上の課題

- (1) 稼働率が低い施設について、利用率アップのための工夫を行う。
- (2) 生涯学習館と財団管理他施設との施設のハード・ソフト両面にわたる機能連携を強化する。
- (3) 活動団体の高齢化、少人数化に対応するため、財団他事業と連携し、活動を支援する。

### 4 実 績

平成21～22年度 生涯学習館利用実績

	利用者数(人)	件数(件)	稼働率(%)
平成21年度	301,298	27,533	82.7%
平成22年度(※)	274,222	25,527	85.8%
前年度比	91.0%	92.7%	—

※平成22年度は以下の休館期間があった。

①西戸山生涯学習館 施設・設備改修工事 約4ヶ月の休館  
8/1～12/3休館。教養室のみ7/17～12/3休館。

②戸山生涯学習館 施設・設備改修工事 約2ヶ月の休館  
10/4～11/30休館。  
学習室D・和室は10/4～12/28休館。

### 5 対前年度予算増減説明

老朽化した机・椅子入れ替えに伴う増。

根拠法令・規程	社会教育法、新宿区立生涯学習館条例	事業開始	平成20年度
---------	-------------------	------	--------

# 平成24年度事業計画書

(単位:千円)

定 款	8 新宿区から受託する施設の管理運営に関する事業		事業・枝事業番号	8-12-(2)	
事業名	生涯学習館の運営 (2)指定管理事業			担当課	学習・スポーツ課
				経営計画	継続
目 的	生涯学習館登録団体及び地域の生涯学習団体を支援し活性化を図るため、施設を有効活用した各種事業を展開する。				
区分	予算額	前年度予算額	比較増減	会計	公益目的事業会計
事業費	6,934	6,908	26	部	経常増減の部
指定管理事業収益	0	0	0	大	事業費
自主事業収益	0	0	0	中	8号事業費
自主財源	196	253	△ 57	種別	指定管理事業
区指定管理料	1,255	1,123	132		
区指定管理料(人件費)	5,483	5,532	△ 49		

## 事業の計画

### 1 実施内容(予定)

- (1)生涯学習館まつり…各館で2日間開催する。利用団体で構成する実行委員会により企画・運営を行う。
- (2)生涯学習館登録団体のネットワーク化  
…文化系団体1種目について、活動団体のネットワーク連絡会づくりのためのコーディネートを行なう。
- (3)ギャラリーオーガード「みるっく」及び生涯学習館での作品展示支援  
…生涯学習館活動団体が館内での作品展示を行なう際の支援と、「みるっく」での展示を行なうための支援を行なう。
- (4)ガーデニングクラブ協働事業  
…赤城生涯学習館を会場に、施設緑化のための区民の活動を支援する。また、館まつりへの参加により地域の緑化推進に貢献する。
- (5)交流コーナー・サロンの設置  
…住吉町生涯学習館に既設のコーナーを充実させ、財団事業や地域情報を発信し、区情報誌や各種雑誌の閲覧サービスを行なう。また、空間レイアウトを見直し、談話しやすい空間作りを行なう。

### 2 成果指標 生涯学習館まつり参加団体を250団体とする。

- (1)登録団体中、文化系1種目についてネットワーク協議会の結成を目指す。

### 3 実施上の課題

- (1)生涯学習館まつりについて、多くの団体が実行委員会に参画するよう、利用団体に働き掛ける。

### 4 実 績

平成22年度実績

各生涯学習館で2日間開催。 ※西戸山生涯学習館は震災の影響で中止した。  
三栄町、赤城、戸山、北新宿、住吉町生涯学習館での館まつり実績合計  
参加団体数212、 延べ来場者数15,194人

### 5 対前年度予算増減説明

住吉町生涯学習館交流コーナー・サロン整備に置けるレイアウト変更経費の増

根拠法令・規程	社会教育法、新宿区立生涯学習館条例	事業開始	平成20年度
---------	-------------------	------	--------

# 平成24年度事業計画書

(単位:千円)

定 款	8 新宿区から受託する施設の管理運営に関する事業		事業・枝事業番号	8-13	
事業名	ギャラリーオーガード“みるっく”の 管理運営			担当課	学習・スポーツ課
				経営計画	成果指標の変更
目 的	生涯学習活動を支援するために、区民の生涯学習の成果である作品を、年間を通じ発表できる場を提供する。				
区分	予算額	前年度予算額	比較増減	会計	公益目的事業会計
事業費	2,680	2,629	51	部	経常増減の部
受託事業収益	0	0	0	大	事業費
区受託料	2,287	2,238	49	中	8号事業費
区受託料(人件費)	393	391	2	種別	受託事業

## 事業の計画

### 1 実施内容(予定)

本事業は、展示団体数を増やすため、より柔軟な運用を行うために、運営要綱見直しのため区と協議を行う。

- (1) 施設のPRリーフレットの制作、HPでの展示作品の紹介などを通じて、周知を強化する。
- (2) 利用者アンケートを実施し、その声をもとに、随時課題の見直しを行いながら、展示方法についても再検討を行い、区と協議のうえ、多彩な展示ができるようにする。

### 2 成果指標

経営計画 展示団体数 平成25年度・26年度 12団体→15団体に増加。

展示団体数:12団体(平成22年度実績12団体)

- (1) PRの強化
- (2) 運営要綱及び仕様見直しのため区と協議を行う。

### 3 実施上の課題

- (1) 経年劣化した設備、利用者から要望のあった箇所を順次修繕する。
- (2) 展示期間と展示形態を見直すことで、より出展しやすく、楽しく鑑賞できる場にする。
- (3) 展示作品運搬や、清掃作業について、現在の業務の費用効果を検証し、より効率的な維持管理を目指す。

### 4 実 績

平成22年4月～平成23年3月

年12回・12団体展示

### 5 対前年予算増減説明

交換用電球補充による増(1個→2個)。

根拠法令・規程	ギャラリーオーガード“みるっく”運営要綱	事業開始	平成12年度
---------	----------------------	------	--------